

# 金融ソリューション

## タブレット端末を活用した営業活動を支援する

# 「金融機関向け 日立モバイル クラウドサービス」



コンパクトで携帯性に優れたタブレット端末のビジネス活用が進んでいます。なかでも銀行、保険会社、証券会社、クレジットカード会社などの金融機関では、お客さまへの効果的な商品提案や申し込み手続きの電子化、即時入力やペーパーレス化にともなう業務効率向上などへの期待から、導入検討が増えています。

そこで日立は、金融機関の営業活動をタブレット端末で行うためのシステム基盤とWebアプリケーションをクラウドサービスとして提供する「金融機関向け日立モバイルクラウドサービス」を開発しました。

今回の特集では金融機関のお客さまのニーズや課題とあわせて、本サービスを詳しくご紹介します。

近年、金融機関では店舗外での業務が多い営業部門を中心に、タブレット端末を導入する動きが拡大しています。より機動力のある営業活動を行うため、タブレット端末ならではの画面の見やすさと直感的な操作性を生かし、多様化する金融商品・サービスをイメージ画像・動画を交えてわかりやすく説明したり、グラフィカルなシミュレーションを駆使した提案活動、申し込み手続きの電子化など、お客さまへのサービス品質の向上を支援するツールとして期待が高まっています。

営業活動にタブレット端末を活用する

ことで、お客さま先で記入した内容を帰社後に再びPCで入力する手間や時間のロスがなくなり、お客さまへの提案などに専念する時間を増やすことができます。また、最新の金融動向やこれまでのお客さまへの提案活動の経緯、そして情報提供のためのさまざまなコンテンツの共有による提案力の強化と均一化、業務の電子化によるスピード化やペーパーレス化といった、さまざまな業務改革と効率的なワークスタイルを実現する基盤としても注目を集めています。

導入に向けた課題も

しかし、これからタブレット端末を導入しようと考えている金融機関からは、「使ってみたいが、業務でどのように活用したらいいか迷っている」「導入と運用に時間をかけたくない」といった意見が寄せられています。一方、すでに活用している金融機関からは、「オンライン環境が前提だと、常時ネットワーク接続が必要となり、通信環境が不安定な場所では安定的に業務が行えない」「タブレット固有の機能(手書き・カメラ・GPSなど)やモバイルプリンタなどを組み合わせて活用したい」といった声があがっています。





